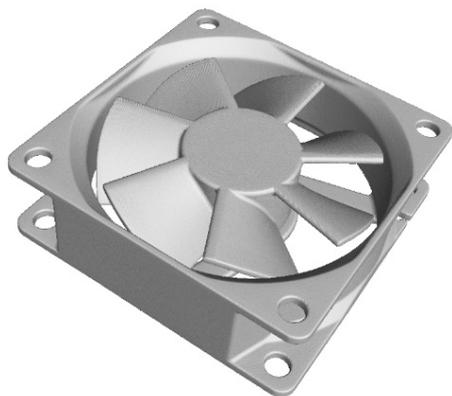


X線CTスキャンによる形状のデジタル化

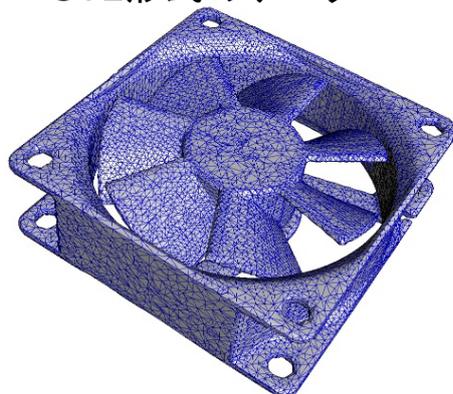
モノづくりにおいてリバースエンジニアリングを行うためには、現物をデジタルデータに置き換える必要があります、その一つの方法として、X線CT装置を使用することができます。



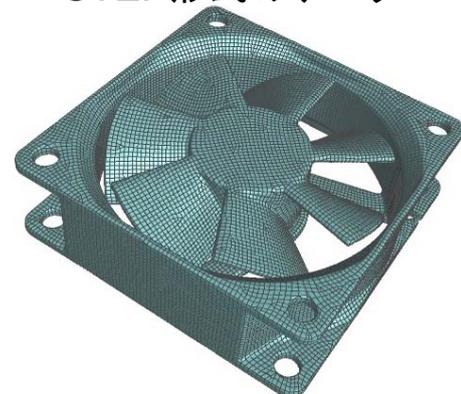
X線CT装置によるスキャンは、自由曲面形状や、内部に隠れた部分の形状も取得することができ、対象物全体の形状を簡単に取得することができます。

スキャン結果のデータよりSTL形式もしくはSTEP形式にて表面形状を出力できます。

STL形式のデータ

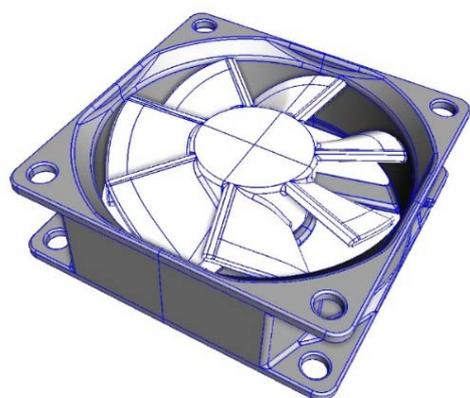
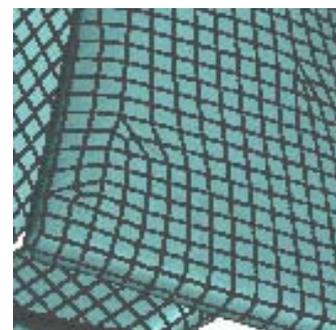
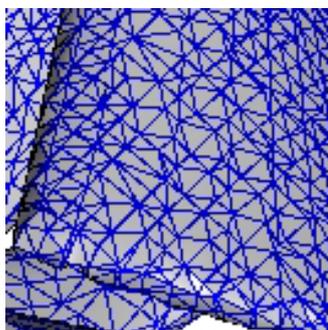


STEP形式のデータ



STLデータは、微小三角形の平面の集合データです。

STEP形式の場合は、微小エリアの自由曲面データの集合データになります。



STLデータもしくはSTEPデータを基にして、モデリングソフトやCADソフトを使用して3D-CADデータを作成します。

実物の形状からデジタル化されたデータを得ることで、管理された製品の生産への利用や、新たな製品開発の元データとして活用できるだけでなく、不具合を防ぐシミュレーションのデータにも利用でき、現物とデジタルデータを融合する方法として非常に有益な方法です。

当研究所では、このようなCTスキャン測定を随時受け付けています。